

話題レポート

お笑い芸人もぐらが田植えに挑戦

6月10日、東上野出島の田んぼで、もぐらの二人が市長とともに田植えを行いました。泥だらけになりながらも最後まで頑張り、田植えの後は地元の食材を使った昔ながらの「こじはん」で、お腹を満たしました。この様子はYouTubeチャンネル「もぐら白河に住みますチャンネル」の第12話で配信しています。



「市民共学」出前講座の開催

6月11日、大屋小の体育館で県南地区動物愛護ボランティアの会の皆さんが、出前講座を開催しました。参加した同小4年生の児童は、ボランティア犬やウサギと触れ合う中で「命の大切さ」・「モラル・マナーの大切さ」・「動物の素晴らしさ」を学ぶことができました。市ではさまざまな出前講座を開催しています。



「白河市コミネス交響楽団」が発足

6月20日、コミネス大ホールで同楽団の発足式が開催されました。

誰もが身近に音楽を楽しみ、豊かな感性と創造性を育み、本市と県南地方の文化向上を図るものです。

発足式では、エドワード・エルガー作曲の『威風堂々』の記念演奏が行われ、集まったたくさんの観客を魅了しました。



楽団の構成は次のとおりです。

- 団員 91人
 (小学生15人・中学生13人・高校生16人・学生1人・一般46人)



「楽員部部长 蓮沼一紀さんから一言」

副部長と楽団の基礎を築き、充実した音楽活動をしていきたいと思っております。

長年、南湖の植物の調査を続けている福島大学の黒沢高秀教授の研究から見てきた南湖の自然環境を、カキツバタとキショウブを例にご紹介します。

「カキツバタの自生」

在来種のカキツバタは5月～6月に松虫の原で咲く紫色のアヤメ科の植物です。アヤメとは花の模様が異なり、花びらに白または薄黄色の線があります。



写真：黒沢高秀

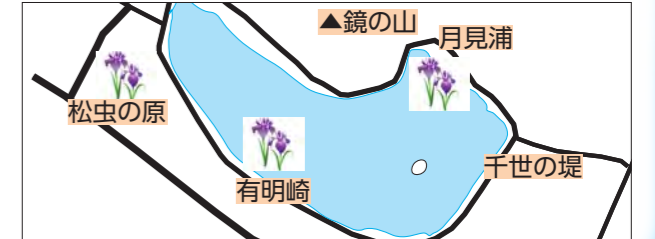
市街地での自生は県内では珍しく、貴重です。そのため『ふくしまレッドリスト』(2019年版)では絶滅危惧Ⅱ類に『環境省レッドリスト』では準絶滅危惧に指定されています。

黒沢教授の調査では、令和3年6月時点で、南湖の松虫の原や有明崎などに自生していることが分かりましたが、昨年に比べ4割程度減少していました。



松虫の原のカキツバタ (2020.5.28) 写真：黒沢高秀

【カキツバタの分布図】



「カキツバタを脅かすキショウブ」

一方、外来種のキショウブは南湖とその上流の水路に2,700株以上が生育しています。松虫の原や湖岸の一部でカキツバタと同所的に生育し、競合していることも確認されました。特に湖岸で著しく、カキツバタを圧倒しています。



「南湖築造とカキツバタ」

南湖が造られて約40年後に描かれた絵図(下図)には湿地が存在していることが分かります。黒沢教授の調査によれば、絵図からは現在南湖周辺では見られない、湿地に集まる鳥類が生息していたとみられるなど、生物の多様性が高い湿地環境が成立していたと推測されます。カキツバタもこうした湿地で自生するようになり、現在まで残されてきたと考えられています。



▲奥州白川南湖真景図(南面之図、部分) (国立国会図書館ウェブサイトより)

お知らせ

ラウンジ

りぷらん

シリーズ

子育て

保健

くらしの情報館

手話

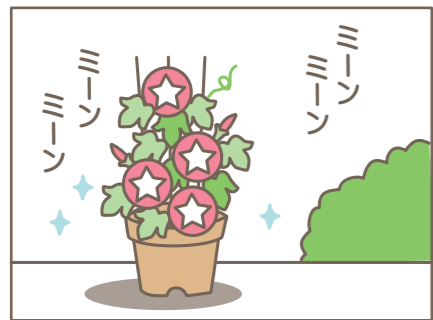
高齢者サロン

休日当番医・無料相談ほか

市長の手控え帖

ばなこのころろ

作 本町かずこ
夏



アイスキャンデーの季節到来！

話題レポート

工場立地に関する基本協定締結式



6月8日、バルサン(株)と協定を締結しました。同社は、害虫駆除剤や日用雑貨品などを製造しています。地域への経済効果や、雇用者数の増加が見込まれることから、地域未来投資促進法の特例措置を活用して農地転用を行い工場立地する県内初の事例です。



6月15日、エイト工機(有)と協定を締結しました。同社は、あらゆる材質に対応した接触式センサーの加工部品および油圧・空圧の加工部品を製造しています。これまで、西郷工場と旧白河工場で行ってきた製造機能を白坂地区に新設する工場に集約します。

受賞おめでとうございます

令和2酒造年度 全国新酒鑑評会 金賞



6月1日、千駒酒造(株)の皆さんは清酒『千駒大吟醸』が、同賞を受賞したことを報告に訪れました。鑑評会では、香りや味に特に優れた清酒に金賞が与えられ、福島県は8回連続金賞受賞数最多県を達成しました。

100歳おめでとうございます

齊須 サメさん(東栃本)
大正10年5月25日生まれ

話題レポート

日本ボッチャ協会との相互協力に関する協定締結式

6月11日、(一社)日本ボッチャ協会と協定を締結しました。この協定では、市民が障がい者スポーツに親しむ機会を提供するとともに、スポーツを通じた活気ある地域社会をつくることなどを目的としています。また、ボッチャ競技日本代表チームがJR東日本総合研修センターで強化合宿を行うにあたり、市より白河産コシヒカリ2俵が贈られました。



市複合施設基本設計検討委員会 委員委嘱状交付式

6月14日、交付式が行われ、市長から11人の委員が委嘱されました。続けて開催された委員会では、委員長に日本大学工学部の市岡綾子さん、副委員長に(株)楽市白河の藤田龍文さんが選出されました。今後、市民会館跡地に整備する複合施設について、市民の視点や専門的な見地からの幅広い意見を聞きながら、基本設計を進めていきます。



明治安田生命保険(相)との包括連携協定締結式

6月14日、明治安田生命保険(相)と協定を締結しました。この協定では、人的・物的資源を有効に活用して、地域活性化や住民サービスの向上などを図ることを目的としています。今後、安全・安心に暮らせる人にやさしいまちや、いきいきと健やかで笑顔があふれるまち、地域資源を生かし産業を育て雇用を生むまちづくりなどに連携して取り組みます。



しづきわえいいち 渋沢栄一マンガ贈呈式・マンガ贈呈記念授業

6月15日、白三小で贈呈式と南湖公園魅力発信事業実行委員会の副会長 中目公英さんによる記念授業が行われました。

これは、松平定信公と渋沢栄一翁のつながりを知り郷土愛を育んでもらうため、同実行委員会が漫画家の守村大氏に制作を依頼したもので、市内の小・中学生全員に贈呈されました。

